



チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision
この子を救う。未来を救う。

ETH-182258

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

国情報



エチオピア連邦民主共和国

アフリカの北東部に位置する内陸国。イタリア領となった1936年からの5年間を除いて植民地化されることなく、独立を保ってきました。アムハラ族、オロモ族など約80の民族が暮らし、公用語はアムハラ語。宗教はキリスト教とイスラム教が主流です。主産業は農業ですが、慢性的に食料が不足しています。



地域情報

ゴンダール・ズリア地域開発プログラム (ETH-182258)

支援期間：2006年～2023年*

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都のアディスアベバから北西に約500kmの、アムハラ州北ゴンダール県ゴンダール・ズリア郡でプログラムを実施しています。支援地域は、エチオピア帝国時代の旧跡が残る古都ゴンダールから車で20分ほどの場所で、標高2,000m以上の高地です。住民の多くは農業や牧畜で生計を立てていますが、灌がいが普及していないため、6～8月の雨期以外の時期は収穫が少なく、食料不足が深刻です。安全な水源が少なく、トイレの普及も遅れているため、下痢などの感染症が頻発しています。



地域の課題



水汲みや家畜の放牧、弟や妹の世話など、多くの仕事を子どもたちも担っています



食料確保

年間を通じて十分な食料を得られない世帯 約**22%***



教育

貧困のため**入学が遅れ**たり**中退**する子どもが多い



水・衛生

安全な飲み水を入手できない住民の割合 **35%***



保健

医療施設、スタッフ、医薬品が不足



支援地域の住居の様子

* 2014年時点



食料確保

灌がいや近代的な農法が普及していないため、収穫量が少なく、年間を通じて十分な食料を得ることができない世帯が少なくありません。農業以外の生計手段も得て、収入を向上させていくことが課題です。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 近代的農法についての技術研修
- 灌がい用水路とポンプの設置支援
- 小規模ビジネスや貯蓄・借入方法についての研修



収穫量を増やす方法についての研修を行います



教育

公立学校の授業料は無料ですが、学用品を購入することができず入学が遅れたり、家事を手伝うため中退してしまう子どもが少なくありません。教材不足や教師の指導法の問題で、教育の質も低迷しています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 教室の増築や机・イスの整備
- 教師に対する指導法や教材作成についての研修
- 住民に対する教育の重要性についての啓発活動



子どもたちが質の高い教育を受けることができるよう支援します



水・衛生

安全な水源確保やトイレの整備が遅れており、衛生についての知識も不足しているため、下痢や肺炎などの予防できる病気で命を落とす子どもが後を絶ちません。水汲みにかかる時間も子どもの負担になっています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 井戸の建設支援
- 野外排泄のリスクとトイレ設置・使用の重要性に関する啓発活動
- 公共トイレや学校のトイレの建設



地域の人々が安全な水を得るために必要な支援を行います



保健

医療施設が少なく、スタッフや医薬品も不足しています。設備の整った施設で助産師の介助を受けて安全な出産をする女性は、約4割(2014年)です。健康管理についての住民の知識も不足しています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 電気が通っていない保健センターへのソーラーシステムの設置
- 保健センターへの医療器具の提供
- 住民に対する感染症予防についての啓発活動



地域の人々が必要な医療サービスを受け、健康に過ごせるよう支援します



支援は子どもたちの生活を変える力となります

ジェマル君の父親は織物職人として働いていますが、収入は少なく、4人の子どもたちを十分に食べさせ、学校に通わせるのは困難でした。

しかし、ワールド・ビジョンから6頭の羊を支援してもらって飼育した結果、13頭に増やすことができました。増えた羊を売ったお金で、父親はジェマル君と兄弟に栄養のあるものを食べさせ、学用品や衣類を買うことができました。

ワールド・ビジョンはジェマル君のような子どもたちの健やかな成長を助けるために、支援活動を行っています。